

校長室だより



H25 (2013) 年 NO.8

岸和田市立浜小学校 渡瀬 克美

『主人公』として 『育ってきた子どもたち』

5年前にPTAの広報雑誌『七町の絆』に次の文章を書きました。

「子どもが主人公として活躍する学校めざして…学校の主人公は子どもです。子どもが生き生きと活躍している学校こそが、教師はもとより、保護者も望むところです。禅の言葉で『主人公』とは

『純粋な自分、迷いのない自分、決意新たな自分』を意味します。子どもたちは学校という『自分探しの旅』のなかで、主人公として人格の形成の確立を求め学ぶのです。人格の完成には労働と勉強は欠かせないものです」

昨年オウム真理教の逃亡者が全員逮捕されました。あれだけの高学歴者が猛毒のサリンを作り、尊い命を奪ってしまったのです。「人は人のために生きてこそ人と申す」といいますが、まさにオウムの話はその逆なのです。たとえどんなに勉強ができててもダメなのです。しかし、「逆もまた真なり」で、どんなに人間性が素晴らしくても、生きて働くための学力がなければ困るのです。つまり、学校教育の目的は「学力と人間性」の両方を育てていかなければならないのです。

この二つの目的を達成するためには、私たち教員は、教材を通してどのような人間に育ててほしいかまた、子どもたちにつけたい学力を明確に持ち、子どもが意欲を持って学べるように教材研究と授業研究をしっかりと行うこと。額に汗して働くことの意義（『流汗悟道』）を子どもと共有すること。とりわけ教員の『人間性』は子どもの人生に影響することが少なくないので、子どもを励ましこそすれ、見くびったり、決めつけたりしてはならないことなどが求められます。

私たちは、これらのことを肝に銘じ、今年度の子どもたちの様子を見たとき、先生との一体感を感じられます。行事でつけたい力（立案・準備～実践～片付け～反省までを協力して子どもたち自身の手でやり切らせる『自治の力』）に応え、行事を重ねるたびに、仲間とともにあゆむというブレない連帯感が伝わってきました。私たちは、高学年の子どもたちの活躍ぶり・リーダーぶりに感動を何度も味わい低学年の子どもたちには「高学年になるとあのよう頑張るんだ」という伝統のようなものを感じられます。そして、子どもたちはハンデキャップのある仲間と共に生きる頼もしい『人間』に育ってきています。加えて、大阪教育大学教授のご指導のもと、研究授業での「考える」「分かる」「分かち伝える」「出来る」「ノートする」という学習集団の形成の研究が仲間を大切にしている学校へと更に着実に創りかえてきたのだと考えています。

浜小の教育方針へのPTAの役員の皆様をはじめとする保護者・地域の方々のご理解・ご協力・ご支援そして、何よりも子どもたちの頑張り、そして、それを支えた先生たちの努力、まさに「七町の絆」の結果により「子どもたちの育ち」が見えてきたと深く感謝申し上げます。今年もなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「地震・つなみの避難訓練を実施」

地震・津波による避難訓練を1月17日（木）に実施しました。17日はもちろん阪神・淡路大地震の日です。毎年17日に避難訓練を実施しているのは地震があったことを忘れず、今後起こりえる南海・東南海地震で命をなくさないように逃げるんだと決意する約束の日です。

ひなんくんれん



訓練に至るまでに次のようなことに取り組んできました。

(1) 全5回の防災教育実践委員会を開催しました。内容は、和歌山大学客員教授(学校防災アドバイザー)今西 武 様の指導のもと、避難訓練・危機管理マニュアルの見直しと実践化、全教職員による研修。不審者対応等です。また、教育委員会の指導のもと、大阪府下で14校のみの配置となった『緊急地震受信システム』を配備していただきました。このシステムは浜小学校を拠点に震度4以上の地震が発生する30秒前に全教室に放送で知らせ、10秒前にはカウントダウンで机の下などに隠れるなどの指示が出ます。浜小が選ばれた理由は、海に近い場所であり、岸和田市内においても一番津波の被害が大きいと考えられるからです。

(2) 学校防災アドバイザーに指導をいただいた詳しい内容と今回実施したことは、

①1月11日午後2時間かけて、津波の被害から命を守らなければならないという意識を持たせるために「毎日新聞社提供による報道写真3. 11メッセージ防災啓発活動プログラム」を高学年の児童に見せました。その結果、避難訓練の意義を理解していたためリアルな避難訓練ができました。避難訓練で見直した内容は

事前授業実施。緊急地震速報システムによる地震発生連絡。30秒の時間があるので、ドアを開けるゆとりがあった。二次避難は下靴で。(岸高への避難時)システム導入とペアで人数確認を行うことで30秒以上タイム短縮。6年生が下級生を挟んで避難。避難経路を広い道に変更。

浜小学校が学校以外の場所に避難しはじめて今年で8年目です。大切なことは次のとおりです。保護者の方もお子さんとお話しておいてください。

地震発生後95分で1m、105分で最大5mの津波がやってくると予想されます。海拔1.5mの浜小学校では対応できないため海拔7.5mの岸和田高校に避難します。

- ・被害や津波の大きさを勝手に考えない。予想がつかないから必ず岸和田高校に逃げること。
- ・津波到着まで95分はかかります。あわてず、みんなを誘って逃げる(徒歩約20分で着きます)
- ・お家の人との待ち合わせ場所は岸和田高校です。
- ・率先して逃げること。(大人の人が「大丈夫」なんて言っても、絶対に逃げること)



持久走記録会 2月5日(火) 予備日2月15日(金)

のコースの変更と案内について

今年度からスタート位置が変わります。理由はスタート直後の折り返し地点が危険だからです。そこで、右下の図のようにスタート場所に変更しましたのでよろしくお願いします。アスファルト道のスタートです。ゴールは変わりません。今年もみんな一生懸命ペースランニングに取り組んでいます。すばらしい。その成果を発表します。ご声援よろしくお祈いします。

スタート時刻

- 3年...10時
- 4年...10時15分
- 1年...10時30分
- 2年...10時45分
- 5年...11時
- 6年...11時15分です。

